

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 H2年10月～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	03 工業
事務事業名			01 適応業種支援事業
根拠法令・例規等			備前市補助金等交付規則
問 担当課(室)			商工観光課
問 職・氏名			商工労政係長 中島和久
問 電話			0869-64-1832

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	地場企業、地場企業従事者
目 的 (何のために)	耐火物、備前焼など産業や伝統産業のもつ高度な技術を生かした新しい工業を振興するため、岡山セラミックセンターの機能を活用して異業種間や関係業種間におけるシステム化の推進を図る。
行 政 活 動 (どのような方法で)	岡山セラミックセンターの機能を活用して異業種間や関係業種間におけるシステム化の推進を図るため、補助金を交付する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市内耐火物企業の技術力の向上と産業の活性化を目指し、雇用の拡大を図る。

事業の実績					
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	補助金交付団体	団体	1	1	1
実 績	直 接 事 業 費	千円	7,267	6,338	4,754
	必 要 人 員 人 件 費	千円	0.05人	0.01人	0.01人
財 源	事 業 費 費 計		7,768	6,431	4,861
	国 県 支 出 金 担 担				
	受 益 者 負 担 金 担 担				
	繰 上 入 金 担 担				
	市 債 借 入 金 担 担				
そ の 他 ( )					
一 般 財 源			7,768	6,431	4,861
受 益 者 負 担 比 率		%			

結果指標①					
結果指標名	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	到達目標値
試験、分析実施件数	件	8,532	10,301	9,479	10,000
対 前 年 比	%	-	120.7%	92.0%	-
活 動 コ ス ト	円	7,768,000	6,338,000	4,861,000	-
単 位 当 たり コ ス ト	円	910	615	513	-
結果指標②					
対 前 年 比	%				
活 動 コ ス ト	円				
単 位 当 たり コ ス ト	円				

事業の成果					
成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
試験、分析実施件数	目標値 (A)	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績値 (B)	8,352	10,301	9,479	到達目標年度
	達成率 (B/A)	83.5%	103.0%	94.8%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
岡山セラミックセンターが実施した耐火物やセラミックに関する試験、分析件数					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさず <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 本市の地場産業である耐火物についての研究開発施設として、センターの所在は大きい。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 県補助金が大幅に減額されたことにより、経営の見直しを行っているが、本市の補助金の削減も事業運営の限界に近い状況にあるため、より効率的な運営が求められる。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 毎年研究実施件数が増えていることから、その有効性は認められる。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況								
目標値	結果指標量①	結果指標量②		成果指標量		1万件以上		
		1万件以上	—	—	—	1万件以上		
状 況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説 明	実施事業の効率化や検査分析件数を積極的に受け入れ、受託収入の増大を図り、より自主財源で運営すること等経営努力を依頼し、昨年と比べ10%削減とした。							

総合評価		評価区分<A~E>
耐火物の研究施設である岡山セラミックセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のため、必要であるが、セラミックセンターが実施している検査、分析等の収入の増に努めるなど、安定した収入源の確保を行うことが重要である。		C 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説 明	耐火物の研究施設である岡山セラミックセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のため、必要であることから、今後も継続していくことが重要である。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	岡山セラミックセンターの事業活動の周知と活用	H22	耐火物業界の技術力、競争力の向上		